

# 「メディカルフィットネス」を活用して

## 医療費抑制を目指す！



コガソフトウェア株式会社

### 事業概要

我が国の医療費は年間 1 兆円規模で増加しており要因として生活習慣病が挙げられています。

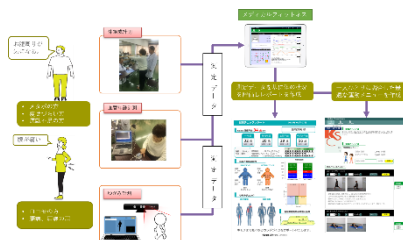
国は有効な予防法である「医学的知識に基づく運動指導」の普及を目指し医療法第 42 条施設等の認定を進めてきましたが広がっていません。

その障壁として「医学的知識に基づいた運動指導を行える人材が少ない」という点が挙げられ、ます。この課題を解決する為、2011 年に医学的知識に基づき症状に合わせた運動プログラムを自動作成できるシステム「メディカルフィットネス」(※以下「MFS」) の開発がスタートしました。MFS は医学的エビデンスを関西医科大学健康科学センターが担い、世界トップアスリートのパーソナルトレーニングを請け負う(株)リーチから運動処方アルゴリズムの開発に協力を受け 2013 年に完成しました。

MFS は健診データや体組成データを入力することで生活習慣病に関わる疾病リスクを判定し、改善するために最適化された運動プログラムが自動作成されます。

またバイタルデータを入力することで身体の変化を踏まえ、更に最

適化された運動プログラムが作成される様に AI 化されています。



2013 年から MFS の医療費抑制効果を検証するため、大阪府和泉市と共同研究をスタートさせました。同市の特定保健指導対象者に「MFS を活用した特定保健指導」を 6 か月間提供し、医療費抑制効果を検証するものです。

結果として参加者の継続率が 83% と非常に高くなりました。

(前年比 36.4% アップ) また減量成功率も 75% と前年比で 17% 高まりました。更に血液検査も行った結果、中性脂肪・HbA1c・LDL/HDL 比・血糖に改善が見られました。また、血液数値とレセプトデータを突合した結果、一人当たり 23,814 円の年間医療費抑制効果が検証されました。

2017 年にはスマホアプリ「MFS PLUS」を開発しスマートウォッチとの連携を可能とし、バイタルデータの IOT 収集を実現しています。

現在は自治体国保から企業健保に軸足を移し「健康経営」をサポートしています。

健康経営を推進する多くの企業が健康に無関心な社員へのアプローチに悩んでいます。

健康に無関心な社員は身体に不具合がないため慢心し、不健康な生活習慣を送ってしまいがちでハイリスクとなる危険性をはらんでいます。そこで「出張型健康チェック」を提供しています。

「出張型健康チェック」では、機器を企業に持ち込み計測を行い、MFS に入力する事で疾病リスクをレポート化し最適な運動プログラムを作成します。疾病リスクを示すことで健康に無関心な社員に動機づけを行っています。「出張型健康チェック」は、ロート製薬様、アサヒビール様など多くの企業に採用されています。



### 会社概要



業務内容：当社は主にシステム受託開発事業を行っている他、ヘルスケアシステムの開発・サービスなどを展開しています。

問合せ窓口：medical-fitness@kogasoftware.com

(担当：研究企画部 藤崎)

所在地：東京都台東区上野 1-17-6 広小路ビル 4 階

URL：https://www.kogasoftware.com/